

なんば  
**難波地区**

面積：9.44km<sup>2</sup>  
人口：1,986人（高齢化率 38.2%）  
世帯数：931世帯

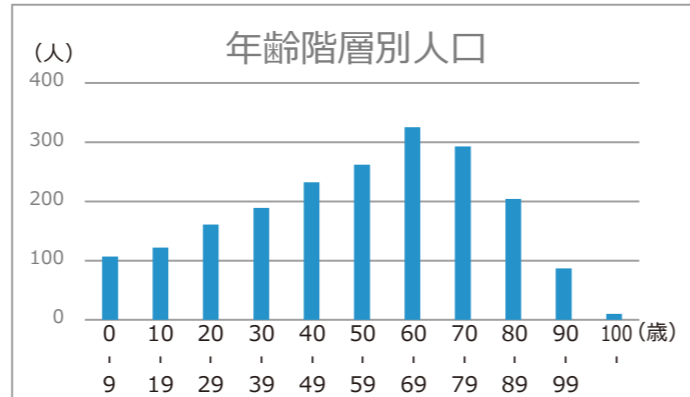


**【地区の特色】**

難波地区は、高縄山系から北側に連なる恵良山や国の天然記念物えひめあやめの自生する腰折山の麓と瀬戸内に面した豊かな自然に包まれ、伝統ある歴史・文化が継承されてきたのどかな農山村地域である。難波に住んで良かったとお互いが思える街づくりを目指し、地域住民のコミュニケーションづくりを展開している。



風早火事祭り



**【地域住民からみた地域の状況】**

地区の強み	地区の弱み	福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対する気遣いがある</li> <li>・ゲートボールやグラウンドゴルフを楽しみにしている</li> <li>・高齢者や障がい者施設がある ・障がい者施設のまつり（北条育成園）がある</li> <li>・自然に恵まれている</li> <li>・同居世帯が多い ・買い物バスがある</li> <li>・公民館活動が盛んで公民館、学校、地域が連携している</li> <li>・町内会行事への参加が多い ・難波子ども教室で子どもを見守っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが増えない ・スーパー、コンビニ、銀行がない</li> <li>・空き家が増えてきた ・交通の便が悪い</li> <li>・津波の心配がある ・土砂災害警戒区域が多い</li> <li>・独居高齢者が多い ・高齢者が遊ぶところ、機会が少ない</li> <li>・独居高齢者の見守りが大変（対象者が増加）</li> <li>・町内の役の担い手がない（人手不足） ・イノシシの被害がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便が悪い</li> <li>・高齢者の集いの場が少ない</li> <li>・土砂災害警戒区域が多い</li> <li>・各種団体の後継者不足</li> <li>・独居高齢者の増加している</li> <li>・買い物困難者が多い</li> </ul>

**難波地区社会福祉協議会**

ささえあい 思いやりが育つさと 難波

<b>構成団体</b>	地区民協・公民館・区長会・公民館運営審議会・交通安全協会 青少年健全育成協議会・保育園・高齢クラブ・JA えひめ・小学校・サロン代表者 独居高齢者みまもり員・PTA・高齢者施設・包括支援センター
<b>主な取り組み</b>	<b>活動内容</b>
いじめや差別のない地域の推進（人権啓発）	難波地区内でいじめや言われなき差別がなくなるよう、小学校・公民館と共に協力して推進しています。
独居並びに寝たきり高齢者及び高齢者介護施設等訪問	独居高齢者や寝たきり高齢者、難波地区に住んでいた方が入所している施設を訪問し、花束等を贈ると共に近況報告や交流を図っています。
福祉だよりの発行	年3回作成し、全戸配布。地域福祉に関する身近な情報を発信しています。

**笑顔でいきいき健康教室**

地域住民を対象にいきいきとした生活が送れるよう、日頃の食事の大切さや偏らない食事の方法等栄養について学んだり、レクリエーションを通じて運動の大切さ、認知症を予防するための脳トレ等の体験をする等皆で楽しく行っています。



**<地区社協が目指すもの>**

難波地区は、海・山・川・田畑に囲まれた環境の中、地域の公民館活動を基盤として地域内の交流が保たれ、少子高齢化が進む中においてもお互いに助け合う穏やかな地区である。また社会福祉関係の施設(保育園、知的障がい者施設、高齢者介護施設等)も充実しており、身近な場所で相談ができ、安心して暮らせる地区でもあります。地域内には道の駅「ふわり」があり高齢者が地元生鮮食料品を出荷する等、生きがいづくりに励んでおり、今後は地元スポーツセンター等と連携したスポーツや健康教室等を通して元気でいきいきと安心して暮らせる地区を目指します。

<b>地区の状況</b>	■地区民協 民生委員 主任児童委員	5名 2名	■町内会・自治会・区長会等	5団体
	■まち協の設立	—	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	4クラブ 0団体 6組織

高齢者世帯の中でも特に高齢者の単身世帯が増加している地区ですが、「道の駅ふわり」販売所やスポーツ施設の充実もあり幅広い年齢層が集まり、心と身体の健康づくり・生きがいづくりに繋がる活動が盛んな地区でもあります。また、地区社協が中心となって地域の福祉施設職員を講師として招き住民向け健康講座を開催するなど地区の社会資源を有効活用しながら自分たちの快適な空間づくりに努めています。普段の暮らしの中にある地域住民の健康習慣や住民相互の助け合い、そして福祉関係施設や医療機関、行政機関との官民一体となった地域福祉活動はこれからも住民の暮らしの豊かさ、そして防災・減災活動の充実にも反映されることでしょう。



# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

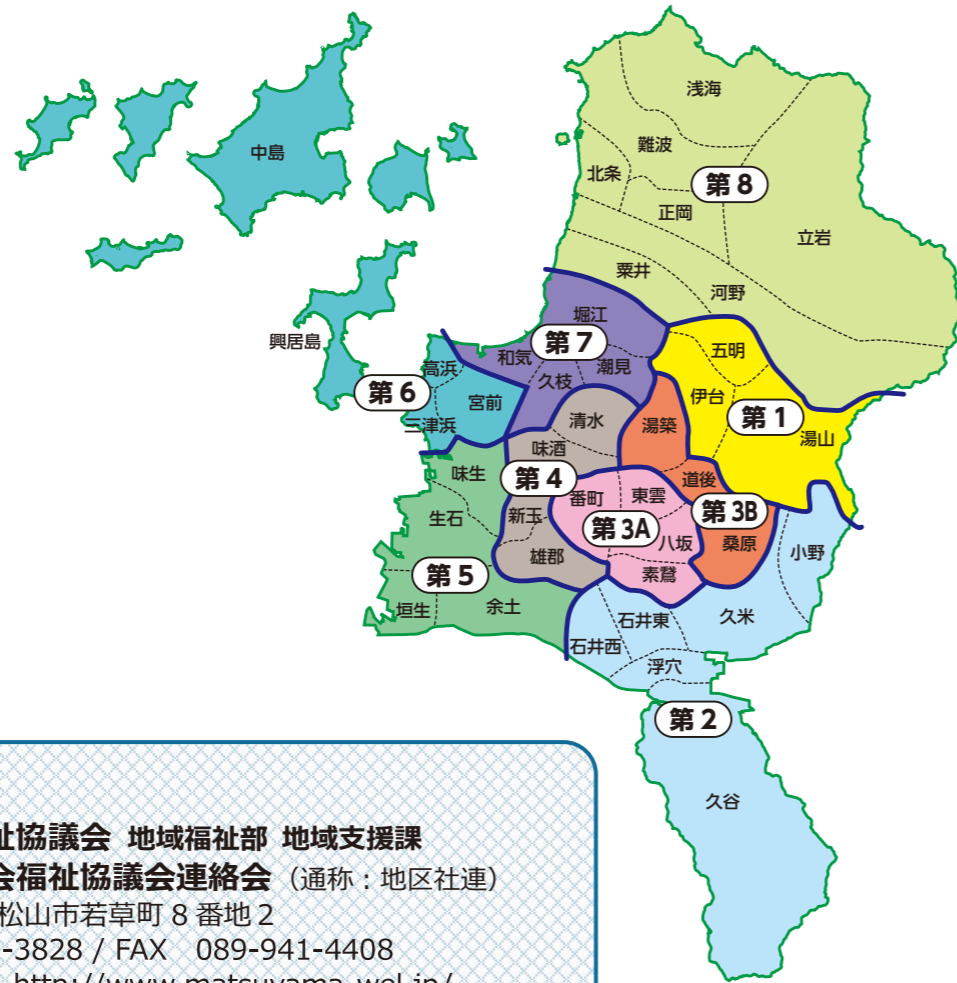
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)  
〒790-0808 松山市若草町8番地2  
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

## <『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

### ①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

### ②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

### ③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

### ④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

### ⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏